

第47回 日本光医学・光生物学会

The 47th Annual Meeting of the Japanese Society for Photomedicine and Photobiology

プログラム・抄録集

- 会期： 2025 年 7 月 11 日(金)・12 日(土)
- 会場： 富山国際会議場（〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号）
- 会頭： 友廣 岳則（富山大学 学術研究部薬学・和漢系 教授）
- 副会頭： 清水 忠道（富山大学 学術研究部医学系 教授）
- 事務局長： 谷本 裕樹（富山大学 学術研究部薬学・和漢系 准教授）
- 学会事務局： 富山大学薬学部
生体認識化学研究室内
第 47 回日本光医学・光生物学会事務局
〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630

■ご挨拶

この度、第 47 回日本光医学・光生物学会を 2025 年 7 月 11 日(金)、12 日(土)の両日に、富山国際会議場にて開催いたします。富山市での開催は、第 29 回(2007 年)、第 41 回(2019 年)に引き続き3回目となりますが、再び富山大学が担当させていただきますことを大変光栄に存じます。

本学会は「光」をキーワードに、人の健康への学問的貢献を目的として、医学、薬学、生物学、化学、工学、物理学など多岐にわたる専門領域の研究者が結集する、ユニークな学術集会です。今回、光と創薬をテーマに、特別講演として、大阪大学の菊地和也教授から化学プローブによる *in vivo* イメージングなどの最前線に関して、また東北大学の南後恵理子教授からは創薬研究に向けた X 線自由電子レーザーによるタンパク質構造リアルタイム解析の最先端の研究をご紹介します。シンポジウムでは「光機能化学が拓く生体計測と光医療のフロンティア」および「ポルフィリン症～疫学、診断、診療ガイドラインの公開に向けて～」を企画し、さらに複数の共催セミナーを開催いたします。一般講演では、本年もまた、基礎系から臨床系分野に渡り、多数の講演申し込みをいただきました。ありがとうございます。今学会での光基礎科学から光治療に至る最新研究の発信が、最先端の光が融合する研究と臨床の発展に繋がることを心より祈念しております。

北陸新幹線が敦賀まで延伸し、関西、名古屋方面から富山への移動時間が短縮されました。会場までは路面電車などで容易にアクセスできます。今年、富山市はニューヨーク・タイムズ「2025 年に行くべき 52 か所」に選定され、活気づいています。豊かで多様な自然や文化が根付き、日本有数の薬の産業や伝統を誇る「くすりの富山」の地において、活発で実り多い学術交流となりますよう、何卒ご協力を宜しくお願い申し上げます。

2025 年 6 月吉日

第 47 回日本光医学・光生物学会

会 頭 友廣岳則
富山大学学術研究部薬学・和漢系
生体認識化学研究室

副会頭 清水忠道
富山大学学術研究部医学系
皮膚科学講座

■アクセス

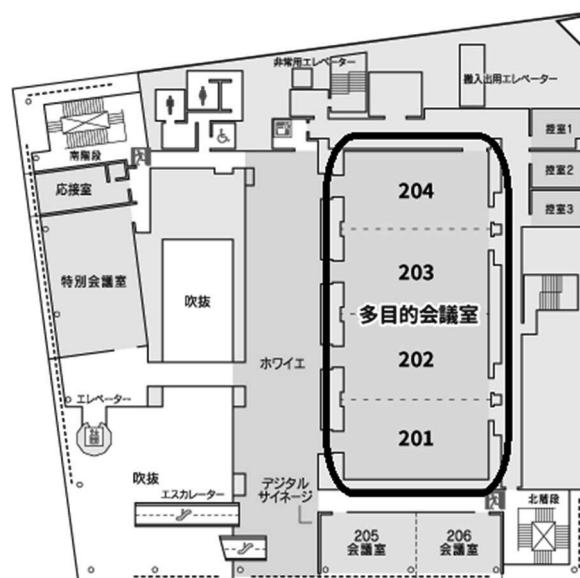
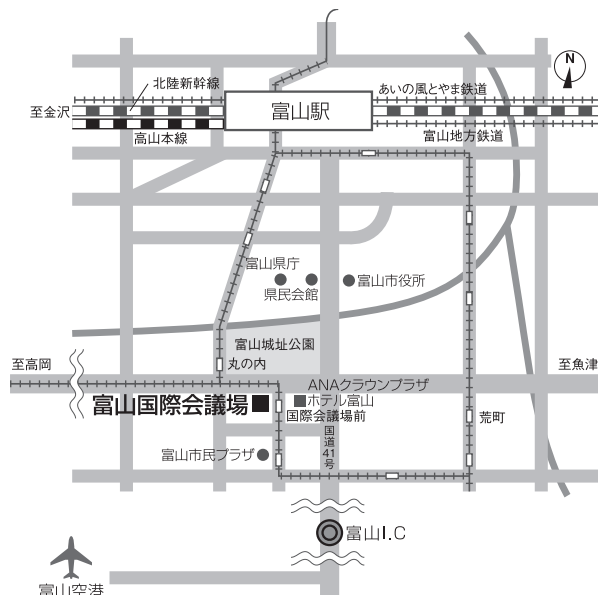
・学会会場：

富山国際会議場 多目的会議室（2 階）

（〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号）



Google Map



JR 富山駅から

バス：約 5 分「城址公園前」下車，徒歩 3 分

徒歩：城址大通りを南へ約 15 分

市内電車(路面電車，環状線)：約 7 分「国際会議場前」下車

富山空港から

タクシー：約 15 分

バス(空港連絡バス)：約 25 分，「総曲輪(そうがわ)」下車，徒歩 2 分

車（北陸自動車道）

富山 IC より約 10 分

富山西 IC より約 20 分

・情報交換会：

ANA クラウンプラザホテル富山（学会会場となり）

（〒930-0084 富山市大手町 2 番 3 号）

参加者へのご案内

■参加費・抄録集

学術講演会参加費 一般:5,000 円 学生:2,000 円

事前登録はございません。学会当日、受付にてお支払いください。
受付での混雑緩和のため、できる限り、お釣りのないようご協力をお願いいたします。
抄録集は当日お渡しいたします。

※返金について

お支払い後の参加費は原則として返金いたしませんので、ご了承ください。
主催者の責に帰すことのできないやむを得ない事情(地震、風水害、事件、事故など)により中止となった場合、参加費は返金いたしません。

■参加証(名札)

当日名札をお渡しいたします。ご記名の上、大会会場では必ずご着用ください。

■関連行事

理事会: 7月9日(水)
オンラインにて開催いたします。

総会: 7月11日(金) 18:00~18:20
学会会場にて行います。
※当日の講演会進行状況により、時間は前後する場合があります。

情報交換会: 7月11日(金) 18:30~
ANA クラウンプラザホテル富山にて行います(学会会場の隣り)。
学術講演会に参加いただいている方はご招待となります。

■発表要項・講演時間

特別講演	50 分（講演 45 分	+ 質疑応答 5 分）
学会賞受賞講演	25 分（質疑応答なし）	
奨励賞受賞講演	20 分（講演 15 分	+ 質疑応答 5 分）
シンポジウム	20 分（講演 15 分	+ 質疑応答 5 分）
一般演題	8 分（講演 6 分	+ 質疑応答 2 分）

ご発表にはノートパソコン等をご持参ください。

また、プロジェクトとの接続トラブルに備え、USB メモリにて講演データを移動できるよう、ご準備のほどお願いします。

接続には HDMI ケーブルまたは D-sub 15pin を用います。

アダプタが必要な場合は、各自ご用意ください。

■座長の先生方へ

座長の受付は行いません。ご担当セッションの開始五分前までに会場にお越しいただき、ご準備ください。

タイトなスケジュールとなっておりますので、時間厳守での進行にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

■個人情報保護方針

参加登録の際にお預かりいたしました内容および個人情報は、第 47 回日本光医学・光生物学会参加登録の事務手続き以外の目的で使用することはございません。また、ご登録いただいた個人情報は必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理いたします。

■注意・連絡事項

講演の録画、録音、写真撮影は固くお断りいたします。

建物内は終日禁煙です。

講演会場内では、携帯電話をマナーモードに設定の上、通話をご遠慮ください。

■飲食およびランチョン・スイーツセミナーについて

2F ホワイエ(会場外通路)および 3F メインホールでのご飲食はご遠慮ください。

また、会場内美化にご協力をお願いいたします。

会期両日とも共催セミナーを開催いたします。お弁当やお菓子をご用意しておりますが、数に限りがございますため、品切れの際はご容赦ください。

■日本光医学・光生物学会入会のご案内

参加者の皆様には、入会のご案内をしております。会員一名の紹介を得て、お申し込みください。年会費は以下の通りです。詳細は日本光医学・光生物学会のホームページをご参照いただくか、日本光医学・光生物学会事務局までお問い合わせください。

正会員（研究者本人）	5,000 円
賛助会員（本会の趣旨に賛同する個人もしくは団体）	30,000 円(一口)より
学生会員（学部生・大学院生）	2,500 円

日本光医学・光生物学会事務局

〒930-0194

富山県富山市杉谷 2630

富山大学学術研究部医学系皮膚科学内

Tel: 076-434-7305

Fax: 076-434-5028

E-mail: dermatol@med.u-toyama.ac.jp

■第 47 回事務局・連絡先

第 47 回日本光医学・光生物学会 運営事務局

〒930-0194

富山県富山市杉谷 2630

富山大学学術研究部薬学・和漢系

生体認識化学研究室

会頭 友廣 岳則

Tel: 076-434-7515

E-mail: ttomo@pha.u-toyama.ac.jp

事務局 谷本 裕樹

Tel: 076-434-7518

E-mail: tanimoto@pha.u-toyama.ac.jp

■日程表

1 日目： 7 月 11 日(金)

	多目的会議室
8:30～	受付
9:00～9:05	開会の辞
9:05～9:45	一般演題① 演題番号 01～05 座長：鈴木 正、喜納 克仁
9:45～10:20	一般演題② 演題番号 06～09 座長：堀内 宏明、伊吹 裕子
10:20～10:30	休憩
10:30～11:30	学会賞授賞式ならびに受賞講演 座長：清水 忠道、中林 孝和
11:30～11:40	休憩
11:40～12:30	ランチョンセミナー①（共催：日本ロレアル株式会社） 座長：清水 忠道
12:30～12:40	休憩
12:40～14:00	シンポジウム① 「光機能化学が拓く生体計測と光医療のフロンティア」 座長：谷本 裕樹、隅田 有人
14:00～14:05	休憩
14:05～14:50	一般演題③ 演題番号 10～14 座長：小澤 俊幸、海津 幸子
14:50～15:00	休憩
15:00～15:50	スイーツセミナー（共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社） 座長：阿部 理一郎
15:50～15:55	休憩
15:55～16:35	一般演題④ 演題番号 15～19 座長：岡本 晃充、吉原 利忠
16:35～17:05	一般演題⑤ 演題番号 20～22 座長：栗原 俊英
17:05～17:10	休憩
17:10～18:00	特別講演① 菊地 和也（大阪大学） 座長：友廣 岳則
18:00～18:20	総会・次期会頭挨拶
18:30～	情報交換会

2 日目： 7 月 12 日(土)

	多目的会議室
8:00～	開場・受付
8:30～9:50	シンポジウム② 「ポルフィリン症～疫学、診断、ガイドラインの公開に向けて～」 座長：清水 忠道、国定 充
9:50～10:30	一般演題⑥ 演題番号 23～27 座長：片山 耕大、西田 絵美
10:30～10:40	休憩
10:40～11:30	特別講演② 南後 恵理子（東北大学 多元物質科学研究所） 座長：中林 孝和
11:30～11:40	休憩
11:40～12:30	ランチオンセミナー②（共催：サノフィ株式会社） 座長：氏家 英之
12:30～12:40	休憩
12:40～13:10	一般演題⑦ 演題番号 28～30 座長：鶴田 大輔
13:10～14:00	一般演題⑧ 演題番号 31～36 座長：平川 和貴、平野 智也
14:00～14:50	学会奨励賞授賞式ならびに受賞講演 座長：錦織 千佳子、田邊 一仁
14:50～	閉会の辞

■プログラム（多目的会議室）

1日目：7月11日(金)

8:30- 受付

9:00-9:05 開会の辞

会頭 友廣 岳則

9:05-9:45 一般演題①

座長 鈴木 正、喜納 克仁

01. 2つのクリック反応性を有するコンパクトな多機能性光クロスリンカーの開発

○森本 正大、定金 豊

鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科

02. 光線力学療法への応用を指向したロタキサン型光増感剤の開発

○市川 大貴、大石 雄基、横山 悟、周 越、千葉 順哉、井上 将彦

富山大学薬学部/大学院総合医薬学研究科

03. リンポルフィリン多量体の光増感剤特性

○平川 和貴^{1,2,3}、井上 亮太¹、岸本 直起¹、齊藤 圭祐¹、野村 怜太¹、伊吹 裕子⁴、西村 賢宣⁵、岡崎 茂俊⁶

¹静岡大学 大学院総合科学技術研究科 工学専攻 化学バイオ工学コース、²静岡大学 創造科学技術大学院 ナノマテリアル部門 光・ナノ物質機能専攻、³静岡大学 大学院光医工学研究科 光医工学共同専攻、⁴静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科、⁵筑波大学 数理物質系 化学域、⁶浜松医科大学 光先端医学教育研究センター

04. テモポルフィンを基本骨格としたセラノスティック分子による

がん細胞選択的なイメージングと光細胞毒性

○守屋 里愛、石田 文久、高橋 大介、戸嶋 一敦

慶應義塾大学理工学部応用化学科

05. pH応答性ポルフィリン-DDS複合体のON/OFFスイッチング挙動

○堀内 宏明¹、藤井 俊大朗²、品川 稜斗²、奥津 哲夫²

¹京都府立大学 生命環境科学研究科、²群馬大学 理工学府

9:45-10:20

一般演題②

座長 堀内 宏明、伊吹 裕子

06. 新規グアニン損傷の迅速生成法の発見

○喜納 克仁^{1,2}、三谷 仁貴¹、古味 彰翔¹、川田 大周^{1,3}、森川 雅行⁴、田中 好幸⁴

¹徳島文理大学 理工学部 ナノ物質工学科、²徳島文理大学 未来科学研究所、³広島大学 大学院 医系化学研究科 薬学分野、⁴徳島文理大学 薬学部 薬学科

07. 標的応答性DNAプローブカクテルと蛍光ビーズによる

同時多成分生体分子解析手法の構築

○菅原 正人、西原 達哉、田邊 一仁

青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科

08. DNAアプタマーセンサーカクテルと蛍光ビーズによる多成分代謝物解析

○西原 達哉、菅原 正人、三尾 玲緒斗、田邊 一仁

青山学院大学理工学部化学・生命科学科

09. 青視物質の分子進化および波長制御機構解明に向けた

短波長感受性視物質の赤外分光研究

○新井 想空¹、水野 陽介¹、神取 秀樹^{1,2}、片山 耕大^{1,2}

¹名古屋工業大学 大学院工学研究科

²名古屋工業大学 オプトバイオテクノロジー研究センター

10:30-11:30

学会賞授賞式ならびに受賞講演

座長 清水 忠道、中林 孝和

(医学領域)

光と眼に関する自身の研究を振り返る～日本光医学光生物学会で行った発表を中心に

谷戸 正樹

島根大学医学部眼科学講座

(化学・生物学領域)

多機能光アフィニティーラベル法の開発と生体分子相互機構解析への応用

友廣 岳則

富山大学 学術研究部 薬学・和漢系

11:40-12:30 ランチョンセミナー①

共催：日本ロレアル株式会社

座長 清水 忠道

光老化のアップデート

牧野 輝彦

富山大学学術研究部医学系皮膚科学

2-メルカプトニコチノイルグリシン(2-MNG):

色素沈着のための新しいメラニン合成抑制分子

鈴木 淳

日本ロレアル株式会社 リサーチ&イノベーションセンター スキンケア応用領域研究所

12:40-14:00 シンポジウム①

「光機能化学が拓く生体計測と光医療のフロンティア」

座長 谷本 裕樹、隅田 有人

TICT機構に基づく無蛍光性ローダミン類の開発と蛍光プローブ開発への応用

花岡 健二郎

慶應義塾大学大学院薬学研究科

N-オキシド化学プローブによる蛍光イメージング

平山 祐

岐阜薬科大学ケミカルバイオロジー研究室

生体内合成化学治療

田中 克典

東京科学大学 物質理工学院 応用化学系

理化学研究所 開拓研究所 田中生体機能合成化学研究室

光受容タンパク質ロドプシンの探索・解析と光変換素子としての応用

須藤 雄気

岡山大学学術研究院医歯薬学域(薬学系)

10. パーキンソン病治療への応用を目指した

オプトジェネティクス技術による運動制御の可能性

○佐藤 諒宗¹、菅野 江里子¹、宮下 陽一¹、田端 希多子¹、白 蘭蘭²、福田 智一²、富田 浩史¹

¹岩手大学大学院 総合科学研究科 生命科学コース視覚神経科学研究室、²岩手大学大学院 総合科学研究科 生命科学コース細胞工学・分子遺伝学研究室

11. オプトジェネティクスを用いた視覚野への光感受性付与

○長崎 勇斗¹、菅野 江里子¹、吉澤 侃杜¹、丸岡 史侑¹、田端 希多子¹、白 蘭蘭²、福田 智一²、富田 浩史¹

¹岩手大学 理工学部 視覚神経科学研究室、²岩手大学 理工学部 細胞工学・分子遺伝学研究室

12. 308nmエキシマライトとUV-LED光源による

NHEKおよびJurkat細胞の遺伝子発現変動と細胞挙動の比較研究

○森 雅弘^{1,2}、益田 秀之^{1,2}、木尾 智彦^{1,2}、森田 明理¹

¹名古屋市立大学 加齢・環境皮膚科、²ウシオ電機株式会社

13. 284 nm 紫外線B波照射による動脈硬化性プラーク安定化作用

○佐々木 直人^{1,2}、伊藤 謙¹、Aga Krisnanda¹、田中 亨³、堀部 紗世¹、岩谷 素顕⁴、福永 淳⁵、力武 良行¹

¹神戸薬科大学 医療薬学研究室、²神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学講座、³立命館大学 薬学部 炎症・再生機構研究室、⁴名城大学 理工学部 材料機能工学科、⁵大阪医科薬科大学 医学部 感覚器機能形態医学講座 皮膚科学

14. ヒト線維芽細胞における青色光曝露後のレチノール代謝と細胞応答

○山本 博之^{1,3}、澤口 能一²、恋田 彩加¹、山田 俊幸³

¹愛知淑徳大学 食健康科学部 健康栄養学科、²桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科、³日本薬科大学 薬学部 薬学科

15:00-15:50 スイーツセミナー

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

座長 阿部 理一郎

光医学と乾癬治療：PUVA からLED 光線療法までの展望

森田 明理

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学

15:55-16:35 一般演題④

座長 岡本 晃充、吉原 利忠

15. 特定のpH領域で機能する光増感剤の開発研究

浅田 萌香、小橋 彬徳、安田 大輔、○平野 智也

大阪医科薬科大学薬学部

16. 5-フルオロ-4-チオウリジン誘導体の励起状態緩和過程とpH依存性

○安部 裕貴¹、佐藤 輪¹、柏原 航²、鈴木 正¹

¹青山学院大学 大学院理工学研究科 理工学専攻、²大阪工業大学 工学部 応用化学科

17. 光線力学的療法への応用を志向した

リンポルフィリンがもつ光化学的物性のpHによる制御

○平岩 侑馬¹、武田 和宏¹、平川 和貴^{1,2,3}

¹静岡大学 大学院総合科学技術研究科 工学専攻 化学バイオ工学コース、²静岡大学 創造科学技術大学院 光・ナノ物質機能専攻、³静岡大学 大学院光医工学研究科 光医工学共同専攻

18. 過渡回折格子法によるケトプロフェンとウシ血清アルブミンの光化学反応

○柏原 航¹、鈴木 正²

¹大阪工業大学 工学部 応用化学科、²青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科

19. 近赤外光線免疫療法の細胞死機序：新規細胞死Photochemosis

○佐藤 和秀^{1,2}、岡田 知子³、岡田 龍²、小椋 俊彦³

¹名古屋大学大学院医学系研究科、²名古屋大学高等研究院・医工連携ユニット、³産総研

16:35-17:05 一般演題⑤

座長 栗原 俊英

20. 遠視性デフォーカス刺激による脈絡膜肥満細胞の脱顆粒と近視化

○池田 真一^{1,2}、施 珏^{1,2}、福地 智一^{1,2}、根岸 一乃²、坪田 一男^{2,3}、栗原 俊英^{1,2}

¹慶應義塾大学医学部眼科学教室光生物学的研究室、²慶應義塾大学医学部眼科学教室、
³坪田ラボ

21. 新規オプトジェネティクス遺伝子による網膜色素変性症治療

○角田 聡^{1,2}、細島 頌子^{1,2}、神取 秀樹^{1,2}

¹名古屋工業大学大学院生命応用化学専攻、²名古屋工業大学オプトバイオテクノロジー
研究センター

22. ラット角膜上皮に対する222 nm Far-UVC連続照射の安全性評価

○海津 幸子¹、佐々木 正裕²、大橋 広行²、谷戸 正樹¹

¹島根大学医学部眼科学講座、²ウシオ電機株式会社

17:10-18:00 特別講演①

座長 友廣 岳則

化学プローブのデザイン・合成によるin vivoイメージング

菊地 和也

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻

18:00-18:20 総会・次期会頭挨拶

18:30- 情報交換会（ANA クラウンプラザホテル富山）

2日目：7月12日(土)

8:30-9:50 シンポジウム②

「ポルフィリン症～疫学、診断、ガイドラインの公開に向けて～」

座長 清水 忠道、国定 充

急性ポルフィリン症診療ガイドライン

足立 智英

東京都済生会中央病院 総合診療内科・脳神経内科

ポルフィリン症の診断について～遺伝学的検査を中心に～

赤坂 英二郎

弘前大学大学院医学研究科皮膚科

皮膚ポルフィリン症診療ガイドラインと全国疫学調査

○三澤 恵、清水 忠道

富山大学学術研究部医学系皮膚科学

皮膚ポルフィリン症ガイドラインのCQ解説

川原 繁

ソフィアひふ科クリニック

9:50-10:30 一般演題⑥

座長 片山 耕大、西田 絵美

23. 光を用いて単一生細胞内での分子の濃度をその場定量する

○中林 孝和、古賀 圭祐、横澤 公平、澁谷 蓮、町田 雅斗、梶本 真司

東北大学大学院薬学研究科

24. クロライドイオンを対イオンとするサンゴオプシンの分光学的研究

○富永 侑利¹、犬飼 紫乃¹、酒井 祐輔²、小柳 光正²、寺北 明久²、神取 秀樹^{1,3}、
片山 耕大^{1,3}

¹名古屋工業大学大学院 工学専攻、²大阪公立大学大学院 理学研究科、³名古屋工業大学 オプトバイオテクノロジー研究センター

25. 一分子蛍光観察による一細胞プロテオームプロファイリング

○金 水縁、Latiefa Kamarulzaman、日高 拓也、土田 美咲、谷口 雄一
京都大学高等研究院物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)

26. 2-アントロールを基本骨格としたがん細胞応答型光感受性分子の創製

○宮澤 柚葉、李 瑜莎、高橋 大介、戸嶋 一敦
慶應義塾大学理工学部応用化学科

27. UVA1とUVBの複合曝露によるDNA二本鎖切断の形成と

細胞内ヌクレアーゼの関与

○伊吹 裕子¹、成道 舞¹、小牧 裕佳子^{1,2}

¹静岡県立大学大学院 食品栄養環境科学研究所、²大阪公立大学大学院 工学研究科

10:40-11:30 特別講演②

座長 中林 孝和

X線自由電子レーザーで観る：光感受性タンパク質の動的構造

南後 恵理子

東北大学 多元物質科学研究所

11:40-12:30 ランチョンセミナー②

共催：サノフィ株式会社

座長 氏家 英之

アトピー性皮膚炎でみられる皮膚バリア機能異常とデュピルマブの有効性：

遺伝性角化症の話題も含めて

乃村 俊史

筑波大学医学医療系皮膚科

12:40-13:10 一般演題⑦

座長 鶴田 大輔

28. 短パルスレーザーのパルス幅がメラノソーム破壊閾値に与える影響の実験解析

○下条 裕^{1,2,3}、西村 隆宏²、鶴田 大輔¹、小澤 俊幸¹

¹大阪公立大学 大学院医学研究科 皮膚病態学、²大阪大学 大学院工学研究科、³日本学術振興会 特別研究員

29. アトピー性皮膚炎に生じた慢性光線性皮膚炎

○木村 杏理、牧野 輝彦、三澤 恵、清水 忠道

富山大学学術研究部医学系皮膚科学

30. 全身の局面性病変を呈した菌状息肉症に対する内服PUVA単独治療にて 良好な治療効果が得られた1例

○国定 充¹、黒田 ひなの¹、野口 直杜¹、金 里紗¹、喜多川 浩一²、吉岡 愛育³

¹兵庫県立はりま姫路総合医療センター 皮膚科、²兵庫県立はりま姫路総合医療センター
腫瘍血液内科、³神戸大学病院皮膚科

13:10-14:00 一般演題⑧

座長 平川 和貴、平野 智也

31. フェニルアゾチアゾール基を導入した核酸医薬品の合成と 外部刺激による遺伝子制御

○田村 洸樹、西原 達哉、田邊 一仁

青山学院大学大学院 理工学研究

32. スルフィン酸付加に応答する蛍光分子の合成研究

○上坂 優佳、谷本 裕樹、友廣 岳則

富山大学薬学部

33. リゾチーム-ルテオリン複合体の特性

○阿曾 哲也、稲田 妙子

北里大学理学部

34. アゾホウ素錯体による第二近赤外吸収・発光高分子ミセルの創出

○権 正行、田中 一生

京都大学大学院工学研究科

35. 網羅的ケージド化を指向した光励起ホウ素分子の開発

○隅田 有人、秋庭 琉衣、細谷 孝充

東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所

36. 光保護基を用いたユビキチン鎖化学合成制御

○岡本 晃充、古畑 隆史

東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻

14:00-14:50 学会奨励賞授賞式ならびに受賞講演

座長 錦織 千佳子、田邊 一仁

(医学領域)

非視覚光受容による近視進行抑制経路の探索

栗原 俊英

慶應義塾大学医学部眼科学教室

(生物・化学領域)

複合型光ファイバーの開発と医療応用

岡 潔

量子科学技術研究開発機構 関西光量子科学研究所

14:50- 閉会の辞

会頭 友廣 岳則

「Photomedicine and Photobiology」投稿規定

1. 筆頭著者は日本光医学光生物学会員とし、共著者は原則として日本光医学光生物学会員に限る。
2. 投稿内容は original article(原著), review article(総説), letter to the editor(短報)を主とし、和文または英文で他誌に掲載されていないものとする。投稿原稿は和文と英文のいずれも可とする。
3. 投稿原稿の執筆要綱は下記のとおりとする。

原著(英文 3,500 語, 和文 10,000 字):

医学, 薬学, 生物学, 化学, 物理学などの分野における光に関連した研究論文。
本文, 要約, 図の説明を含む(参考文献は除く)。図・表は 4 点以内。

総説(英文 5,000 語, 和文 15,000 字):

原則, 編集者からの依頼原稿であるが購読者からの推薦も歓迎する。
本文, 要約, 図の説明を含む(参考文献は除く)。図・表は 5 点以内。

短報(英文 1,500 語, 和文 4,000 字):

臨床症例報告や速報的研究。
本文, 図の説明を含む。参考文献は 10 編以内。要約は不要。
図・表は 2 点以内。
要約は英語で 250 字以内とする。
図・表が制限を超える場合については, 編集委員会で調整する。
4. 原稿は英文あるいは和文で Microsoft Word かそれと互換性のあるソフトウェア (doc or docx file) で作成し, メールで dts211@gmail.com へ提出する。
5. 原稿には 1) タイトルページ, 2) 要約と key words (3-5 個), 3) 本文, 4) 謝辞, 5) 参考文献, 6) 図・表の説明を記載し, 頁番号をつける。
6. 要約は和文, 英文に関わらず英語(250 語)で, 背景, 方法, 結果, 結論と構造化して記載する。
7. 図は高解像度(300 dpi 以上)にて JPEG ファイルで作成し必ず説明を付ける。
図はモノクロ, カラーのいずれでもよい。
8. 文献は本文に用いられたもののみをあげる。引用番号は本文の引用順とし, 本文中の引用箇所にはアラビア数字を入れた括弧を記載する。例(1)。

9. 文献は、下記の形式に従って記載する。著者は 6 名以下の場合は全員を、7 名以上の場合は最初の 3 名を記載し、「他」または et al.を付ける。雑誌名は Index Medicus に従い適切に略記する。

(例) Rahmani F, Razaee N. Therapeutic targeting of Toll-like receptors: a review of Toll-like receptors and their signaling pathways in psoriasis. Expert Rev Clin Immunol, 2016;12:1289-1298.

Frain-Bell W. The photodermatoses. In: Rook A, ed. Recent advances in dermatology. Edinburgh: Churchill Livingstone, 1973: 101-133.

10. 利益相反に関してはすべて記載する。
11. 著者には PDF のオフプリントを提供します。
印刷版が必要な場合はメールでご注文ください。

Photomedicine and Photobiology

編集長 鶴田 大輔

〒545-8585 大阪府阿倍野区旭町 1-4-3

大阪公立大学院医学研究科皮膚病態学

E-mail: dts211@gmail.com

Author Guidelines

Submission of manuscripts

Editor-in-Chief requests authors to submit manuscripts via e-mail <ds211@gmail.com>. Manuscripts must be submitted as Microsoft Word or compatible software (doc or docx files). Figures should be prepared as high resolution (>300 dpi) JPEG files. Only black and white figures are available. Word limit for summary must be 250 words. Authors for whom English is not a mother tongue may submit their manuscript to professional English Editing Service. The work to be submitted has not been published before, is not considered for publication elsewhere. The manuscript for submission must be carefully written and approved fully by all authors. Color artwork is free for submission.

Editor-in-Chief

Daisuke Tsuruta, MD, PhD

Department of Dermatology

Graduate School of Medicine

Osaka Metropolitan University

1-4-3 Asahimachi, Abeno-ku, Osaka 545-8585, Japan

Manuscript types

Photomedicine and Photobiology accepts original articles, review articles, and letters to the editor. Color figures are normally not applicable for the submission.

Original articles are investigative studies in fields such as photomedicine, photobiology, and photochemistry. It should not exceed 3500 words (10,000 characters in Japanese), including 250 words (750 characters in Japanese) abstract, Figure legends (excluding references), and a maximum of 4 figures/ tables.

Review articles are for authors essentially invited by Editors. However, suggestions from readers are welcome. It should not exceed 5000 words (15,000 characters in Japanese), including 250 words (750 characters in Japanese) abstracts, figure legends (excluding references), and maximum of 5 figures/tables.

Letters to the Editor are for brief reports. Word count limits for this category are 1500 words (4,000 characters in Japanese), including legends (excluding references) with 2 figures or tables. Reference should not exceed 10 in number. Abstract is not required for this category.

Manuscript arrangement

The manuscript should be written in either English or Japanese. Double spaced typing and minimal margin of 25 mm are required. Each manuscript requires the following: 1) Title page, 2) Abstract and 3-5 key words, 3) Text, 4) acknowledgements, 5) References, 6) Tables/Figures with separate legends. Please number each page. Structured abstract, including Background, Methods, Results and Conclusions, is requested. The abstract should be written in English even if the manuscript was written in Japanese.

References

Number references consecutively in the order appeared in the text. Identify references by Arabic numerals in parentheses. Ex) (1). List all authors when 6 or less. When 7 or more authors exist, list only the first 3 and add “et al.” Journal titles should be properly abbreviated according to Index Medicus style. Examples of references are as follows:

1. Rahmani F, Razaei N. Therapeutic targeting of Toll-like receptors: a review of Toll-like receptors and their signaling pathways in psoriasis. *Expert Rev Clin Immunol*, 2016;12:1289-1298.
2. Frain-Bell W. The photodermatoses. In: Rook A, ed. *Recent advances in dermatology*. Edinburgh: Churchill Livingstone, 1973: 101-133.

Conflict of Interest

Please disclose all conflicts of interests. These include financial, personal, political, intellectual or religious interests.

Offprints

PDF offprint will be provided for authors. If additional printed offprints are required, the authors can order them via e-mail <ds211@gmail.com>.

■謝辞

第47回日本光医学・光生物学会の開催および運営にあたりまして、次の各企業様より格別のご支援を賜りました。ここに謹んで御礼申し上げます。

第47回日本光医学・光生物学会
会頭 友廣 岳則
副会頭 清水 忠道

共催企業一覧

サノフィ株式会社

日本ロレアル株式会社

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

五十音順（6月6日現在）

その他、多数の皆様からご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。